

News

No.135
2015/10/01

社会への 智慧の還元



※ 上記画像は現在本校と連携中の株式会社RICOH様が、海老名市にOPENした「RICOH Future House（リコーフューチャーハウス）」です

■サレジオ高専News

校長挨拶
産学連携について機械電子工学科長 吉野教授より
海老名での連携についてBS11様で紹介されました
ソーラーカープロジェクトの活動が東京MX様で紹介されました

■育英学院同窓会報

定期総会告知と議案
念願のサレジオ同窓会日本連合結成される（育英学院サレジオ高専で結成役員会開催）
恒例の高専キャリアデー開催・比留間新センター長と会食
卒業生の動向と短信（同窓会BBS情報他から紹介）
ドン・ボスコの足跡を辿る

■父母会だより

平成27年度 父母会本部と各パーティ紹介
父母会定期総会、歓迎迎会
「学校に関して、先生にお聞きしたい事」
「訊かんない、父母会に聞いてみたい事」アンケート結果
おやじの会
恒例！野尻湖バス旅行

SALESIO

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8

Tel. 042-775-3020 Fax. 042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

発行人・・・校長・小島 知博
編集長・・・教員・山館 順
Design・・・広報・星野 正登



■ キックオフ



■ 学生も討議に参加



■ 企業人・学生・教員でオパトレ

■ 海老名駅

- 社会の発展に寄与するために -

先日、BS11で高専をテーマに取り上げる番組が放映されました。中級技術者をたくさん育成する目的でスタートした高専制度ですが、50年経過して少しずつ設立当初と目的が変化しつつあるというところからはじまりました。そういう中でも企業から高専に寄せられる期待は大きく、期待に応えるためにどのように高専は学生たちを育成しているのか、期待に応えながら高専はこの先どういう変化を遂げる必要があるのかなど現状と課題がわかりやすく報道されていました。この番組のなかでとくに産学連携という話題で、RICOH様との連携事業が取り上げられるなかで、本校が紹介されました。

海老名駅西口地区に今年の8月にオープンするRICOH Future Houseにおいて実施されるコンテンツを共同で創り上げてゆくこの連携を通して、学生たちはしっかりと責任を感じながら企業の方々と作業を進めることで、良い体験を積むことが出来ると考えております。そしてそれは教職員にとっても同様です。高等専門学校の高度化という高専の持つ課題のなかで、学校単独ではなかなか気づかない事柄、対応が困難な内容を学校以外の方々、地域の方々や企業の方々の協力を得て、課題の解決に取り組むことはこれからも本校が継続して取り組んでいく活動です。

校長室にあるカレンダーに禅のことばがあり、その中で「我逢人」（がほうじん）ということばが紹介されています。「人と人との出会いの尊さ」を意味しています。私たちは人生を通じてじつにたくさんの人たちと出会います。出会いはただ物理的に人と人とが同じ時間と空間を共有するだけではないと思います。それは出会いの本質は互いに影響を与えあうことにあるのだと考えるからです。自分以外の人から良いものを受け取ること、それが人に成長をもたらします。その意味では学校は出会いの場でもあります。本校に通う学生たちが学校生活のなかで多くの人たちと関わり、大きく成長してほしいと願います。



サレジオ工業高等専門学校
学校長 小島 知博

■ RICOH Future House(リコーフューチャーハウス)



- 学生を交えて智慧の還流を加速 -

高等教育機関である高専の主たる役割は、教育と研究にあります。教育・研究の詳細は、人格の形成、能力の開発、知識の伝授、知的生産活動、文明の継承など非常に幅広いと思います。そして、人材の育成や研究の推進は、短期的にも長期的にも社会に寄与すると考えられます。高専は、毎年人材を社会に輩出し、高専でなされた研究の成果は、技術を革新し、あるいは社会に変革を齎してきました。しかし、近年、「社会貢献」という表現で、あえて高専に社会との直接的な関わりが求められてきたことの意味は、社会の側からの高専に対する視点の転回への要請と解釈できます。換言すれば、高専機能の即自的な理解から、対自的な意識化への転換が求められてきているといえるかもしれません。

社会にとって高専がどのように映り、社会からの要請に高専がどう対応しているのか、社会にとっていかなる機能を果たしているのかを、他者の立場から捉え直す事が求められているのであり、その直接的な表現が「社会貢献」であるといえます。

サレジオ高専機械電子工学科では、電子工学分野と機械工学分野を教授し、機械・電子複合技術を意識した技術者育成を行い、人間性、創造力、コミュニケーション力を有した技術者の養成を目指して教育を行っています。この実現のため、昨年秋以降から今日まで「株式会社リコー」様との産学連携のため学生を含めたミーティングを繰り返してきました。創造力の完成形は、学校での授業を通じての学びと企業と連携することによって生ずる真の「ものづくり」によって達成できると考えています。学生という身分の貴重な時期に企業との連携を通して、「ものづくり」の実践を体験することは、未来を担う技術者育成にとって大変意義あるものと確信しております。

サレジオ高専機械電子工学科は、今後も株式会社リコーとの連携の下、RICOH Future House（リコーフューチャーハウス）でのものづくり教室コンテンツの学生を交えた共同プログラム開発などによって新たな創出を行う所存です。

サレジオ工業高等専門学校
機械電子工学科長 博士（工学） 吉野 純一 教授



海老名 RICOH Future Houseでの産学連携を通して本校の機械電子工学科の授業や活動がBS11様の「本格報道 InsideOUT」でも紹介されました



「海老名 RICOH Future House での連携」とは

本校と株式会社リコー様は、株式会社リコー様が進める海老名西口まちづくり事業の一環として開業を予定しているRICOH Future Houseにおいて協働プロジェクトを行うことについて2015年4月1日に左図の協定書を締結いたしました。この事がBS11様に伝わり、TV取材という運びとなりました。協働プロジェクトの第1弾としては、2015年9月19日に海老名 RICOH Future Houseにおいて、校外体験教室・進学説明会が開催予定です（本News制作時はまだ実施前です）

高度な内容をわかりやすく教えるサレイジオ高専の教育スキルとリコーの技術力および研究・開発・設計のリソースを用い、将来のものづくりを担う科学者・技術者の育成の場を協創する第一歩としてこれから更に発展してゆく予定ですので皆様ご期待ください。

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」では大学に期待される役割として、社会貢献（地域社会・経済社会・国際社会等広い意味での社会全体への発展への寄与）が重要視されており、より直接的な貢献が求められています。

つまりこれが大学、高専などの高等教育機関が果たすべき、研究、教育に続く「第三の使命」であると言えます。

智慧を高める「研究」や、智慧を継承する「教育」とは、そもそもそれ自体が長期的観点からの社会貢献ですが、企業との連携による智慧の還元とは前述した、「より直接的な社会貢献」であると言えます。

智慧を継承した人材の輩出で長期的社会貢献
産学連携等を通して直接的な社会貢献

—そして新たな智慧は再び研究・教育へ—



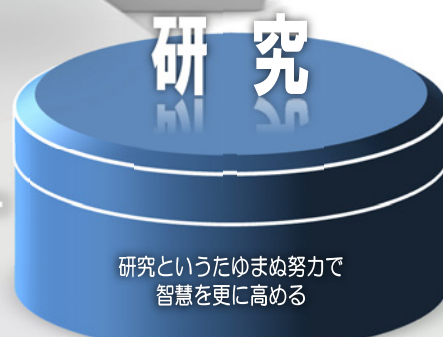
「研究」により高められた智慧は、「教育」により未来を担う学生たちへと確かに継承されており、今回の連携ではその学生を通じて、さらに地域社会の皆様へ高等教育機関の智慧が還元されてゆくと考えられます。これは本校の目指す

「善き社会人の育成による社会貢献」

であり、今後もより良い社会の為に本校の教育・研究・社会貢献は進化し続けてゆくと考えます。

これからも本校の教育・研究・社会貢献へのご支援をよろしくお願いいたします。

文責 学校広報 星野 正登



公益財団法人東京都道路整備保全公社「夢のみち」事業における
本校のソーラーカープロジェクトの活動がTOKYO MX様の「TOKYO MX NEWS」でも紹介されました



「夢のみち事業」とは

（公財）東京都道路整備保全公社・東京都建設局様の主催・共催により実施される事業です。（後援：国土交通省・東京都教育委員会・道路占用工事業者連絡協議会）この事業は、「都民のみなさんが、道とふれあい、道に親しみを持ち、道が日々の生活に身近な施設であることを実感していただくために、平成22年度から実施されている事業です。本年度は2日間の会期（2015年8月20日、21日）で約20,000人の来場があったそうです。

「海外からの来場者にも積極的にプレゼンをした学生」について

会期中、来場された方にプレゼンテーションを行った学生は、海外からの来場者に対しても積極的に話しかけ、見事にコミュニケーションを取っていました。アルゼンチン、イタリア、ブラジルなど多くの国々の方がいらっしゃいましたが、臆することなく自ら話しかけ、ソーラーカーについてプレゼンテーションを行っておりました。紙面の都合上、下記に1人だけご紹介させていただきますが、参加していた全ての学生を心より誇りに思います。

文責：学校広報室長 星野

私は今、シンガポールに向かう機内でこの原稿を書いています。先日私が所属するソーラーカープロジェクトの発表の一環として新宿駅前でイベント「夢のみち2015」に参加していた際、多くの海外の来場者の方とコミュニケーションをとる機会がありました。

英語でコミュニケーションを取る際、固くなってしまいましたがその必要はありませんでした。サレジオ高専の英語の授業で受けた、「聞いて読む」のお陰で海外の方とコミュニケーションが出来たと思います。自分がすんなりと海外の方とコミュニケーションを取れることに感心しました。

この出来事によりサレジオ高専で受けた実践的な英語の授業は、英語力を高めるだけでなく表情なども学べることがわかりました。これからも英語力を高めていこうと思いました。



サレジオ工業高等専門学校
ソーラーカープロジェクト バラスト担当
4年電気工学科 中丸 靖崇

育英学院同窓会報

発行人:育英学院同窓会 会長 林 紹澄 / 事務局:町田市小山ヶ丘4-6-8 サレジオ高専内



— お知らせ —

2015年10月31日には育英祭において卒業生の集いSHCD2015が開催されます

育英学院同窓会(2013.9-2015.8)

定期総会告知と議案

開催日 2015.10.31(土)16:00 サレジオ高専にて

以下の議案は2015.5.16開催の2013-14年度第3回理事会、2015.10.3開催の2015-16年度第1回理事会・評議員会に提案されたものをまとめたものを定期総会の議案として提案した。

第1号議案 同窓会の現況について

1. 理事会・幹事会名簿(省略)
2. 役員現況 顧問(元会長)9名、相談役(元執行役員)8名、現執行役員9名、理事(執行役員含む)42名、評議員名395名
3. 理事会定足数 42名の3分の1で14名以上で定足数に達した。
4. 評議員会定足数395名の10分の1で40名以上で定足数に達した。(10月開催の理事・評議員会でいずれも欠席委任を含む出席数である)
5. 同窓会実勢現況 同窓会年報2015より2015.3.31現在中学1373名、旧制38名、工高2203名、高専本科8990、高専専攻科108、現元教職員649(ただし中学から工高へ内部進学したものが重複登録されている)
6. 同窓会実勢現況2 同窓会データベースより2015.7現在有効発送数7154名、住所不明者4958名、発送停止79名、物故者469名
7. 同窓会の主要な業務
 - (1) 総会、理事会、評議員会等の開催
 - (2) 同窓会の運営、事業・決算・予算報告
 - (3) 会員データの管理、更新
 - (4) 同窓会報(高専ニュース併載)、同窓会年報の発行
 - (5) 高専行事(キャリアデー)への協力
 - (6) クラス会、同期会、クラブOBOG会、公認団体への支援
 - (7) 高専行事、学生募集等の情報提供(文書、BBS、HP)
 - (8) 育英サイテック(杉並)の施設無償利用の承認(修道会から)
 - (9) SHCDの年次開催
 - (10) サレジオ同窓会日本連合への参画
 - (11) その他

第2号議案. 2013-2014年度の事業報告

年月 活動内容

- 2013.09.02 西村監査役により2011-12年度決算の会計監査実施
 2013.09.07 定期総会の準備のため第1回理事会・評議員会開催
 2013.09.16 育英グラフィックの会支援の事務代行

- 2013.10.10 高専ニュース130、131号封入発送
 2013.11.02 育英祭サービスデスクを学生食堂に置く
 2013.11.02 定例総会開催、続いてCHD01&46開催
 2013.11.04 育英グラフィックの会高橋事務局長、校長代理として出席
 2013.12.19 デジタルサイネージシステムへ補助寄付
 2014.01.23 新卒47期生個人情報調査
 2014.03.17 新卒47期生へ同窓会入会説明と同窓会年報を配布
 2014.03.19 本科47期生卒業式・謝恩会に執行役員出席
 2014.04.10 同窓会役員・元職教職員宛DBツアー一案内発送
 2014.05.17 キャリアデー支援・執行役員会・SHCD2014幹事会
 2014.08. SHCD2014招待期生あて招待状発送
 2014.08.09 サレジオ同窓会日本連合準備会(目黒)会長他2名出席
 2014.9.4-13 ドンボスコツアー参加の加藤多津生先生に取材依頼

※ 紙面関係上第2号議案の続きは次ページに記載いたします ※

第3号議案 13-14年度決算報告

13-14年度決算経過 (2013. 9 - 2014. 8 - 2015. 8) 育英学院同窓会 2015/9/8 11:33

	期首予算	摘要	決算	差額
収入の部				
前期繰越金	¥6,357,086		¥6,357,086	¥0
入会金	¥3,228,000	269名>245名変更	¥2,940,000	¥288,000
年会費	¥680,000	170口>延べ350口見込み	¥1,498,000	¥-818,000
寄付金	¥50,000	10名+事務代行+卒対	¥313,079	¥-263,079
預り金受入	¥0	支援諸団体(3団体)	¥228,000	¥-228,000
雑収入	¥1,200	利息他	¥22,368	¥-21,168
当期収入	¥3,959,200		¥5,001,447	¥-1,042,247
収入合計	¥10,316,286		¥11,358,533	¥-1,042,247
支出の部				
総会開催費	¥150,000	定期総会	¥0	¥150,000
名簿発行費	¥220,000	同窓年報(2014, 2015)	¥276,800	¥-56,800
会報発行費	¥400,000	広報板+高専N(134号)	¥300,000	¥100,000
発送委託費	¥900,000	封入・送料	¥854,635	¥45,365
一般事業費	¥800,000	SHCD2013-14企画	¥1,511,219	¥-711,219
特別事業費	¥600,000	DB200(世界派遣)	¥367,010	¥232,990
会議会合費	¥70,000	会合経費	¥32,742	¥37,258
事務消耗費	¥400,000	封筒・振込用紙など	¥596,408	¥-196,408
通信送料費	¥150,000	一般送料	¥92,600	¥57,400
渉外交渉費	¥150,000	日本連合年会費(新規)他	¥469,990	¥-319,990
慶弔費	¥70,000	弔電・香典	¥56,193	¥13,807
旅費交通費	¥10,000	役員出張(日本連合)	¥329,543	¥-319,543
手数料	¥30,000	払出	¥48,891	¥-18,891
預り金支出	¥0	支援諸団体(3件)	¥228,000	¥-228,000
当期支出	¥3,950,000		¥5,163,831	¥-1,213,831
当期収支差	¥9,200		¥-162,384	¥171,584
次期繰越金	¥6,366,286		¥6,194,702	¥171,584
支出合計	¥10,316,286		¥11,358,533	¥-1,042,247

第2号議案 2013-2014年度の事業報告(前頁からつづき)

- 2014.10.04 SHCD2014の準備のため第2回理事会幹事会
 2014.10.06 高専ニュース132,133号封入発送(16日)
 2014.10.11 サレジオ同窓会日本連合準備会(大阪)会長他2名出席
 2014.11.01 卒業生の集い(SHCD2014)開催
 2015.02.21 サレジオ同窓会日本連合横浜会合に執行役員出席
 2015.03.20 第48期卒業式・謝恩会に執行役員出席
 2015.04.29 町田サレジオ幼稚園落成式に林会長・但馬顧問他出席
 2015.05.09 サレジオ同窓会日本連合町田(本校)設立役員会開催
 4同窓会(横浜サレジオ・大阪星光・宮崎日向・東京育英)役員来校
 2015.05.16 キャリアデー2015支援、執行役員会、
 13-14年第3回理事会・SHCD2015幹事会開催
 2015.08 SHCD2015開催招待を6-10期、43期、48期宛発送

第3号議案 13-14年度決算報告(前頁からつづき)

注記 13-14年度決算について

1. 今期は期首に想定しなかったサレジオ同窓会日本連合結成、世界連合に関わる支出が発生し、予実差が大きい項目が発生した。
2. 収入の部では入会金の卒業生数減少したが、年会費納入者の増などから当期収入約104万増で1136万の収入計となった。
3. 支出の部ではSHCD2014経費、世界大会経費、日本連合年会費、同役員出張経費などが当期支出で当期支出約121万超過となり、収支差から繰越金が17万ほど減少した。

第4号議案 2015-2016年度の主要業務と事業計画

主要業務

- (1) 総会、理事会、評議員会等の開催
- (2) 同窓会の運営、事業・決算・予算報告
- (3) 会員データの管理、更新
- (4) 同窓会報(高専ニュース併載)、同窓会年報の発行
- (5) 高専行事(キャリアデー)への協力
- (6) クラス会、同期会、クラブOBOG会、公認団体支援
- (7) 高専行事、学生募集等の情報提供(文書、BBS、HP)
- (8) 育英サイテック(杉並)の施設無償利用の承認
- (9) SHCDの年次開催
- (10) サレジオ同窓会日本連合活動
- (11) その他

- 2015.10.03 15-16年第1回理事会・SHCD2015幹事会開催
 2015.10.3-6 サレジオ同窓会世界連合(ローマ)に日本連合代表
 団派遣(本会から近松副会長)
 2015.10.31 定期総会2015・SHCD2015開催(育英祭時)
 2016.02 サレジオ同窓会日本連合宮崎会合に会長他派遣
 2016.03 第49期卒業式・謝恩会に執行役員出席
 2016.05 キャリアデー2016支援、執行役員会、
 第2回理事会、SHCD2016幹事会
 2016.x サレジオ同窓会アジア連合(東チモール)に日本連合
 代表団派遣
 2016.09 第3回理事会、SHCD2016幹事会
 2016.10 SHCD2016(育英祭時)
 2017.03 第50期卒業式・謝恩会に執行役員出席
 2017.05 キャリアデー2017支援、執行役員会、
 第4回理事会、SHCD2017幹事会
 2017.09 17-18年度第1回理事会評議員会、
 SHCD2017幹事会
 2017.10 17-18年度定期総会、SHCD2017開催(育英祭時)

第5号議案 サレジオ同窓会日本連合の設立

(設立役員会議事録参照)

2015年5月9日、本校において標題の会合が開催された。その議事録(別掲)と役員を以下の通り紹介する。また加盟の年会費各校20万円(年)を了承した。

■日本連合の参加校と主な役員

- ・育英学院(東京)・サレジオ学院(横浜)、
- ・星光学院(大阪)・日向学院(宮崎)・小平サレジオ(東京)
- ・会長:吉田博史(星光)
- ・副会長:林紹溢(育英)、野崎伸一(日向)、倉知恒久(横浜)
 小太刀秀明(小平)
- ・理事:近松秀明(育英)、由良公一(育英)他、サレジオ学院
 2名、星光学院5名、日向学院2名、小平サレジオ1名
- ・監事:奥山勇人(育英)他サレジオ学院1名
- ・顧問:山野内倫昭(管区長)、小島知博(育英)他4名
- ・事務局 立石光洋(サレジオ学院)、大川千尋(星光)

第6号議案 定期総会・SHCD2015開催について

(同封告知参照)

- ・開催日:2015年10月31日(土) 午後4時~6時
- ・会場:サレジオ高専内学生食堂 予定人数150名程度
- ・予算:60万見込み
- ・招待期:6期, 7期, 8期, 9期, 10期, 43期, 48期、会費会員、
 特別会員、同窓会役員

第7号議案 2015-16年度の予算

15-16年度予算概算(2015.9-2016.8-2017.8) 育英学院同窓会

2015/9/8 11:42

	当期予算	摘要	前期予算	差額
収入の部				
前期繰越金	¥6,194,702		¥6,357,086	Y-162,384
入会金	¥3,528,000	49期+50期294名	¥3,228,000	¥300,000
年会費	¥1,000,000	250口見込み	¥680,000	¥320,000
寄付金	¥100,000	10名+事務代行+卒対	¥50,000	¥50,000
預り金受入	¥0	支援諸団体	¥0	¥0
雑収入	¥10,000	利息他	¥1,200	¥8,800
当期収入	¥4,638,000		¥3,959,200	¥678,800
収入合計	¥10,832,702		¥10,316,286	¥516,416
				¥0
支出の部				¥0
総会開催費	¥50,000	定期総会2015.10	¥150,000	Y-100,000
名簿発行費	¥240,000	同窓年報(2016, 2017)	¥220,000	¥20,000
会報発行費	¥600,000	高専N(135, 136, 137, 138号)	¥400,000	¥200,000
発送委託費	¥800,000	封入・送料	¥900,000	Y-100,000
一般事業費	¥1,500,000	SHCD2015-16企画	¥800,000	¥700,000
特別事業費	¥200,000	連合特別企画	¥600,000	Y-400,000
会議会合費	¥70,000	会合経費	¥70,000	¥0
事務消耗費	¥400,000	封筒作成他	¥400,000	¥0
通信送料費	¥150,000	一般郵送料	¥150,000	¥0
渉外交際費	¥450,000	卒対、日本連合会費(16-17)	¥150,000	¥300,000
庶務費	¥70,000	弔電・香典	¥70,000	¥0
旅費交通費	¥200,000	役員出張(日本連合)	¥10,000	¥190,000
手数料	¥30,000	払出	¥30,000	¥0
預り金支出	¥0	支援諸団体	¥0	¥0
当期支出	¥4,760,000		¥3,950,000	¥810,000
当期収支差	Y-122,000		¥9,200	
次期繰越金	¥6,072,702		¥6,366,286	Y-293,584
支出合計	¥10,832,702		¥10,316,286	¥516,416

注記

1. 総会経費からSHCD開催経費を一般事業費に組み替えた。
2. 収支差は繰越金12万減の見込み、ただし入会金増(本科卒業生が増加の見込み)と年会費の理解が進み納入者の増を図ることで改善される見込み。

念願のサレジオ同窓会日本連合結成される
育英学院サレジオ高専で結成役員会開催
2015.5.9



Founding of the National Federation of Salesian Past Pupils

Fr Yoshiki Sekiya, SDB

議事録(上記集合写真は当日マリア像の前で)

- 開会の言葉(林副会長)
 - ・司会進行役の林副会長(開催校・育英学院同窓会長)より、開会の宣言があった。山野内管区長とともに全員で「聖ヨハネ・ボスコへの祈り」を唱えた。
- 歓迎の挨拶(小島神父)
 - ・同窓会連合設立にあたって尽力された皆さんに祝意と感謝を申し上げたい。サレジオ高専としてこの連合に協力していきたい。日本連合はポテンシャルの高い同窓会であると考えている。今後、様々な活動を通して、世界の人々にも知っていただける組織となるように期待している。
- 会長の挨拶(吉田会長)
 - ・会合参加者、サレジオ高専・育英学院同窓会の関係者に感謝している。城星学園(扶助者聖母会)、大阪星光学院で学んだ。星光の同窓会長は7年目となった。
 - 同窓会の目標
 - ① 期を超えて「集う」こと、
 - ② 学院に対する物心両面の支援、
 - ③ 社会への貢献、が少しずつ形づいてきたと考えている。
 - ・サレジオ同窓会連合の会長として、役員・メンバー一人ひとりの力が必要である。各人の考え方の違いを踏まえ、言うべきことを言い合いながら、世の中のために何ができるか、しっかりと答えを導いていきたい。理解と協力をお願いしたい。
 - ・ドン・ボスコ生誕200周年のタイミングにあたって本連合が設立されたことに感慨を覚えている。サレジオ会日本管区、各校、各同窓会、メンバーの家族の繁栄と発展を心より祈っている。
- 議長および書記の選出
 - ・本役員会の議長として吉田会長を、書記として大川事務局長を全会一致の上選出した。
- 参加者紹介
 - ・本役員会参加者より自己紹介があった。
- 議案
 - 【前回議事録の承認】・参考資料1により、昨年度第3回会合の議事録を確認し、全会一致で承認した。
 - 【第1号議案】サレジオ同窓会日本連合の設立
 - ・資料1-1、1-2に基づき、役員名簿・規約の内容を確認し、サレジオ同窓会日本連合の設立を全会一致で承認した。

※右上に続く

【第2号議案】2015年度事業方針および収支予算案

- ・資料2-1、参考資料2、および、参考資料3に基づき、2015年度事業方針案、ドン・ボスコ生誕200周年の取り組み、サレジオ同窓会連合世界大会の案内等について、立石事務局長より説明があった。
 - ・同窓生・教員対象の巡礼はまだ募集中。参加検討してほしい。(山野内管区長)
 - ・ドン・ボスコの漫画『コラッジョ!!』が完成し、間もなく発売される。サレジオ会学校連合会では、全生徒・児童向けに購入・配付予定。漫画は英語・イタリア語などに翻訳し、全世界に展開を予定している。
 - ・DB200記念Tシャツは、林副会長の尽力によって出来上がった。ポロシャツなど他の募金グッズを現在準備中。
 - ・サレジオ同窓会世界連合会議の参加申し込み締切は5月末(事務局まで)
 - ・次期アジア大会(2017年)開催地は東ティモール。現地で活躍中のサレジオ高専OGやボランティアグループのつながりを活かしたい。
 - ・資料2-2に基づき、2015年度収支予算書(案)について、横山理事より説明があり、各同窓会分担金を20万円(上限)に増額することとした。支出として、新規同窓会(サレジオ小・中同窓会)設立支援費、予備費それぞれ10万円を計上することとした。
 - ・2015年度事業方針および収支予算案について、いずれも全会一致で承認した。また小太刀副会長よりサレジオ小・中同窓会設立支援について謝意が示された。
7. 懇談
- ・資料3をもとに、今後の活動等について意見交換を行った
- 【交流活動について】
- ・メーリングリストを作成し、役員会メンバーを中心に情報を共有できる形にする。
 - ・集いやすいイベントを繰り返し、互いの同窓会の存在を周知していく必要がある。また各同窓会のイベントについて他校同窓会メンバーを招待できるものがあれば、メーリングリストを活用し、広く参加を呼びかけていく。
 - ・11月23日のドン・ボスコ生誕200周年閉幕イベントは、同窓会連合にとって大きなチャンス。各同窓会から担当者を募り、ウニオーネと合同で大同窓会を準備していきたい。参加予定のサレジオ会員(恩師)を事前に把握し、同窓生に広く参加を呼びかけたい。
 - ・日本連合も世界連合同様に、数年に1度大きな会議を開き、広く参加を呼びかけていってもよいのではないか。あるいは全体会合の間隔をもう少し短くして、具体的な活動を積極的に進めていってはどうか。
 - ・次回2016年2月開催予定の役員会前に、会長・副会長レベルで準備する必要がある。
- 【10月世界大会について】
- ・派遣予定者:育英学院:近松理事、日向学院:検討中、大阪星光学院:5月23日同窓会総会で決定予定、サレジオ学院:立石事務局長、サレジオ(小平)は見送り、顧問の派遣についてはサレジオ会で検討、派遣にあたって、準備会を行いたい。
 - ・世界大会に参加すると、サレジオの精神を生き、活躍している世界の同窓生の姿に触れることができる。2021年以降のアジア大会の開催を日本連合に要請される可能性がある。
- 【若者支援活動について】
- ・各校の特色を生かした形で、各同窓会の枠を超えた若者支援・職業教育(生徒に対するガイダンスなど)を展開できないか。生徒や若手同窓生の可能性が広がるのでは。
- <この他の意見>
- ・地域ごとに交流をもつことが現実的。日向学院では、東京で大きな集いを11月第1週土曜日に行っている。

※ 次ページに続く

※ 前ページの続き

- ・大阪星光学院では、東京星光会・大阪大忘年会とも250名ほど参加。幹事の担当期を毎年変えて、各期で引き継げるようにしている。
- ・サレジオ学院では、25歳と50歳になる期に呼びかけて同窓会を行っており、徐々に浸透しつつある。星光同窓会と同様に作成したドン・ボスコのピンバッジを卒業生に配付したところ、保護者も含めドン・ボスコの学校としての認識が少しずつ高まりつつある。

【次回役員会について】

- ・次回役員会は、2016年2月に宮崎・日向学院にて開催予定。

8. 管区長の挨拶と閉会挨拶

- ・長い準備を経て、このドン・ボスコ生誕200周年に1つの夢が実現した。心から感謝したい。集まる場を通して、絆が広まっていくことを実感している。同窓生の輪をさらに広げて、社会・国際社会への貢献の面もぜひ考えていってほしい。
- ・機関誌『ドン・ボスコの風』で同窓生の記事が毎回書かれている。広告などの形も含め、同窓生にさらに協力してもらえるとありがたい。
- ・林副会長より、閉会の宣言があった。

卒業生からキャリアデー講師に 恒例の高専キャリアデー開催・比留間新センター長と会食 2015.6.9

2015年度 OB/OGキャリアデー 講師の方々

2015/7/28 作成

情報工学科		
講師氏名	期	所属
1 岸川雄一 様	26	パナソニックデバイスマテリアル販売株式会社
2 高津 健 様	31	NTT Communications株式会社
3 野部 愛 様	47	株式会社NTT-ME
4 寺井 晃一郎 様	45	富士重工株式会社
5 井村 匠吾 様	47	日本信号株式会社
6 並木 涉 様	44	ヤフー株式会社

計6名

機械電子工学科		
講師氏名	期	所属
1 乙幡裕文 様	36	ハイデンハイン株式会社
2 田中竜太郎 様	39	八王子市
3 奈須川佑太 様	42	アンリツ
4 保岡肇也 様	43	JR東海
5 佐藤温 様	46	メタウォーター(株)
6 宮城雄基 様	46	東京電力

計6名

デザイン科		
講師氏名	期	所属
1 和田泰 様	46	日本フォームサービス株式会社
2 古野真菜美 様	47	千葉大学工学部デザイン学科
3 池田さやか 様	47	東京造形大学造形学部デザイン学科-インダストリアルデザイン専攻
4 高木真菜美 様	47	株式会社 エーフ
5 中村悠 様	47	丹青TDC

計5名

電気工学科		
講師氏名	期	所属
1 高田慎保 様	14	FFGSテクノサービス(株)
2 置田隆志 様	20	ユニテック電空設(株)
3 青木裕太 様	43	メタウォーター(株)
4 菊池輝之 様	44	KYB(株)

計4名

総計 21名

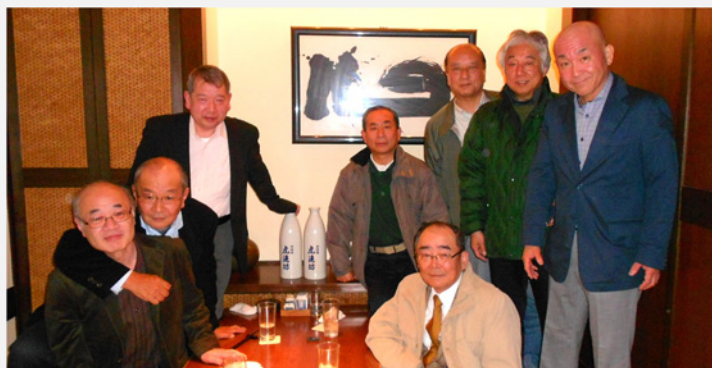
2015年度から新キャリアセンター長に就任した比留間真先生(デザイン学科)と当日参加した林会長他とで懇談し、今後の協力体制について会話をした。

卒業生の動向と短信 同窓会BBS情報他から紹介 2014-2015

★高専5期印刷(グラフィック)有志が会合(2015.4.11)

SHCD2014で参集した同期が声をかけてクラス会を新宿で開催。恩師の鈴木雄二先生を迎え、カナダから帰国した高梨、他に中楠、長島、上野、天野、林(会長)が出席、再会を祝った。

※ 右上に続く



★サレジオ高専写真部OB会新OB・OG歓迎会開催

去る3月22日(日)、今年卒業した48期の写真部員を対象とした歓迎会を、ゲートシティ大崎で開催しました。今年の新OBは5名(男子3名、女子2名)で、当日の参加者は3名の男子でした。元顧問の川本成美先生の挨拶から始まり、OB・OG21名で新OBを迎える歓迎会になりました。また、杉原文治会長より新OB&OGに会長勤務先で作成した素敵なカラーチャートのプレゼントがありました。写真部OB会に関する問い合わせは、幹事会幹事長・小泉貴志(高専GA12期)までお願い致します。



★BBS287 前田憲男さん(H16PA)写真展を開催

去る2015.4.22~27「スリランカの野生動物」という作品名で西新宿のリーコーイメージングスクエア新宿で開催した。前田氏は「カエル」の生態写真家として有名。「カエル 前田」で検索

★BBS292 神田雄大さん(S261D)情報提供

2015.4.9にBSの旅番組に同級の大平知生さん出演

<http://www.bs-fuji.tv/streetcar/index.html>

<http://www.strasburgo.co.jp/mens/brands/cisei.html>

ダイキンのHPで関康一郎さんが紹介されている

<http://www.daikin.co.jp/salone/dialog/index.html>

★BBS296 中村哲雄(元育英中学、工高教諭)画伯グループ展開催

2015.5.18~23先生のグループ展が日本橋のギャラリー白百合で開催された。<http://www.y-iwakami.co.jp/2.html>

★BBS299 飯野昭さん(S12EB)の「見守りドア」がWBSに

2015.6.29 高専ニュース134号で紹介した独居高齢者を見守るアイデア商品がWBS(テレ東)の「トレたま」で紹介され、関係業界で期待されている。

★BBS301 西村美博さん(S9EE)居酒屋開業

下井草駅南口で「パンとぶどう酒」をメインとした居酒屋を開業。是非ご利用を…https://www.facebook.com/pages/立ち飲みワイン屋-パンとぶどう酒/1120441514637253?ref=aymt_homepage_panel

★育英グラフィックの会2015開催

今年も恒例の勉強会と懇親会を11月14日開催と決定した。詳細が決まったら同窓会掲示板BBSにアップし、登録会員には案内を郵送の予定。

★高専5期電気工学科同期会開催

去る8月22日(土)、築地市場「すしざんまい・奥の院」で開かれた。報告はBBSに掲載予定。幹事(近藤、白木、石田、井上忠)

★事務局から

BBSは閲覧のみならず投稿もできますので会合や求人、求職、尋ね人などご利用ください。ただしID、PWが必要なもので以下にお問い合わせください。SNSは当職の技量が不足して対応していませんが、卒業生で紹介したい方がいましたらBBSへどうぞ

kido@salesio-sp.ac.jp(木戸)



9/4 羽田国際線ロビーにて(エミレーツ航空)



コーレ・ドンボスコ聖堂前にて(生誕地)



メモリアルパーク・学校(トリノ郊外ベッキ村)



ドン・ボスコ生家の外観(コーレボスコ)



ドン・ボスコ生家の中(コーレボスコ)



サレジオ会歴代総長(コーレボスコ)



ドン・ボスコ像(トリノ・ヴァルドッ)



記念聖堂内陣(ヴァルドッ)

サレジオの足跡を辿る

高専 教職員有志によるツアー

ボスコの足跡を辿る



「我に魂を与えよ」 聖フランシスコ・サレジオ



サンマルコ 水の広場(ベネツィア)



ゴンドラ風景(ベネツィア)



ミケランジェロの丘より(フレンツェ)



バチカン中央広場と衛兵(ローマ)



サンピエトロ大聖堂内のドンボスコ像/サレジオ教会(ローマ)



サレジオ教会記念館内(ローマ)



サレジオ教会聖堂内パイプオルガン 演奏: 伏木神父(ローマ)



高専News編集部では
皆様からの情報やご要望をお待ちしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

学 校 広 報 室
星 野 正 登

【 hoshino@salesio-sp.ac.jp 】 or 【 070 - 2196 - 5135 】

なお、本校に来校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

